

## 平成23年度第10回宮城大学食産業学部 教授会（定例）議事録

開催場所	管理棟 大会議室	開催日時	平成24年2月8日（水）13:00～15:15
出席者	<p>49名／定数53名            (ファームビジネス学科)            中村(正)教授、本藏教授、小黒教授、齋藤(満)教授、大竹教授、松森教授、井上教授、木村教授、岩浪准教授、岩井准教授、中村(聡)准教授、川島准教授、紺屋講師、齋藤(秀)助教、            (フードビジネス学科)            大久教授、池戸教授、津志田教授、石田教授、川村教授、西川教授、三石教授、下山田教授、鶴岡教授、堀田准教授、森田准教授、菰田准教授、金内准教授、石川准教授、都准教授、白川准教授、河西准教授、谷口助教、君塚助教、木下助教、            (環境システム学科)            矢野教授、加藤教授、上島教授、北辻教授、佐藤教授、原田(茂)准教授、今野准教授、笠原准教授、原田(鉦)准教授、神宮字准教授、千葉講師、伊吹講師、高橋(信)助教、折笠助教            [欠席] ファーム 小林(仁)教授、森本教授、須田准教授、フード 老川准教授、環境 森山教授</p>		
	(事務局) 佐藤参事兼総務学務課長, 後藤課長補佐, 首藤課長補佐, 深町主事		
<b>議 事 内 容</b>			
審議事項	<p>議事録署名人に学部長, ファーム 本藏教授を指名した。</p> <p>(1) 第9回議事録の確認について            第9回食産業学部教授会議事録について、メールで送信済みであり、原案のとおり承認された。</p> <p>(2) 学部長選挙について            (人事に関する内容のため、省略。)</p> <p>(3) 客員教授の推薦について            (人事に関する内容のため、省略)</p> <p>(4) 学都仙台コンソーシアム復興人材育成教育コースに係る諸規定改正について            教務委員長より、資料2に基づいて、学都仙台コンソーシアムの取組として実施される復興人材教育コースについて説明がなされた。それに伴い関連規定の一部改正として、「宮城大学の学生による他学部・他学科等授業科目の履修等実施要項」および「宮城大学食産業学部履修規定」の一部改正について説明がなされ、原案の通り承認された。</p> <p>(5) 平成27年度入試について            入試委員長より、資料3に基づいて、平成27年度大学入試センター試験の利用教科・科目(案)について、説明がなされ、議論がかわされた。意見等があれば、2月21日まで入試委員に出してもらいたいと依頼がなされた。</p>		

## 報告事項

### (1) 予算について

資料4に基づいて、学部長より、平成24年度当初予算要求について説明がなされた。ヒアリングの結果、グローバルインターンシップ関連経費については、原則参加する学生の負担となるため、予算要求は取り下げることが報告された。また、施設に関すること（講義室の機材、水素ガスの保管庫など）については、施設整備費として対応することが報告された。予算要求の結果が出た時点で、再度全教員へ報告することが説明された。

### (2) コピー機及びリソグラフの運用について

資料5に基づいて、学部長よりコピー機及びリソグラフの運用について、学生の不正使用防止のため、コピー機については、全教員に学部教育費用コピーカードを配布すること、リソグラフについてはパスワードを設定することが説明された。

### (3) 全学委員会報告

#### ●国際センター

資料6に基づいて、菰田准教授より報告がなされた。

アーカンソー大学フォートスミス校との交流について、来年度以降の語学研修先として検討をしていることが報告された。

オーストラリア海外研修に係る豪州首相日本対象教育支援プログラムとして、3月7日～27日までに、本学学生15名（事業構想学部9名、看護学部3名、食産業学部3名）がRMITを中心として語学研修として、派遣予定であることが報告された。

留学生受け入れに係るアンケート調査について、協力依頼がなされた。

国際センターを中心に、英語版の大学案内パンフレットについて、現在作成中であることが報告された。

グローバルインターンシップの候補地として、食産業学部としてはベトナムを検討していることが報告され、食産業学部での担当者として、ファームビジネス学科〇〇准教授、フードビジネス学科〇〇准教授、環境システム学科〇〇准教授が決定していることが報告された。

#### ●評価委員会

資料8に基づいて、大竹評価委員長より報告が行われた。教員評価について、教員データベースの更新のため、現在教員データベースが使用出来ないことが説明され、各教員による教員データベースへの入力については、教員データベース更新後の4月から入力をお願いしたいと説明がなされた。また、入力が可能になった段階で、再度アナウンスのメールを送付することが説明された。

#### ●地域連携センター

資料9に基づいて、津志田教授より報告がなされた。3月11日に名取市よりボランティアの参加要請があることが報告され、教員のボランティア参加への協力が依頼された。また、南三陸町コミュニティ復興支援プロジェクト「文部科学省補助事業」について食産業学部からは6件の採択があったことが報告された。

#### ●研究委員会

資料10に基づいて、松森研究委員より報告がなされた。平成24年度当初予算要求について、一般研究費は、講師以上45万円、助教は35万円と一律で振り分けることになることが報告された。また、学会発表等の海外派遣の費用について、平成23年度は40万円だったが、平成24年度からは上限が20万円になることが報告された。紀要については、来年度以降は正式に廃止となることが報告された。

一般研究費について、講師以上と助教の間で、10万円の差が出た理由を知りたいと意見が出された。

紀要の廃止について、紙媒体に寄らない形での作成は出来ないかと質疑が出され、学部ホームページでの発行の検討が要望されたが、広く多くの人の目に触れる場への

投稿をしてもらいたいと説明がなされた。

- 総合情報センター  
報告なし。

(2)学部委員会

- 農場運営委員会

資料11に基づいて、農場長より報告がなされた。坪沼農場産の米の放射能検査結果について、玄米・白米ともに検出限界以下であったことが報告された。平成24年度農場利用計画策定について、農場の利用を考えている先生方には、農場の利用のテーマ、概要、期間、使用面積、家畜の頭数等の利用計画をメールで齊藤秀幸助教まで提出してもらいたいと依頼がなされた。

- 教務委員会

資料12に基づいて、教務委員長より、平成24年度の時間割について説明がなされ、時間割を確認し、調整が必要な場合は、教務委員まで意見を出してもらいたいと説明がなされた。

- 学生委員会

資料13に基づいて、学生委員長より報告がなされた。入管法違反で本学の学生が逮捕されたことが報告され、全学生に対しても事件、事故に巻き込まれることがないよう注意喚起を行っていることが報告された。3，4年生に対しては、各ゼミ担当教員より注意を促してもらいたいと依頼がなされた。

- キャリア部会

資料14に基づいて、学生委員長より、4年生の内定状況について報告がなされた。未内定の学生についても、引き続き支援を行っていくよう協力依頼がなされた。

議事録署名人

池戸 重信 印

本藏 良三 印